育暮家みつけた vol.41

「この家を残す価値はありますか？」

家と暮らしをつないでいく意味を見つめなおして。

『育暮家見つけた』
家を建てること、それは新しい「実家」の誕生です。その一方で多様化する家と暮らしは、生まれた家、「実家」のつなぎ方を変えていきます。『実家が消える』…つなぐ人を失くした住まいは実家という役目を終え、住宅ストック市場へと流れていきます。家のつなぎ方は一つではなくなりました。育暮家ハイホームスの仕事は家づくりを通した「つなぐお手伝い」としています。『育暮家見つけた』は、それぞれのご家族の家と暮らしをつなぐメッセージや物語をお届けできたらとスタートしました。

育暮家の家づくりは「10の育む」の実践です。
①家族を育む ②思いを育む ③暮らしを育む ④手技を育む
⑤風土を育む ⑥地域を育む ⑦未来を育む ⑧健康を育む
⑨感謝を育む ⑩笑顔を育む

「この家は祖父さんが昭和30年頃に建て替えたもので、小さい頃は夏になるとこの家で過ごしたものです。親戚一同が集まる、それは賑やかな家でした。家族を失い、今までは月に2度ほど親父と一緒に空気を入れ替えに茅ヶ崎からここまで来ています」と奥山さん。

土で固めた広い土間、奥に農作業の合間に休憩や食事をとった板の台。そこに力強く家を支える松の梁。農家住宅として土間を中心にした当時の暮らしが見えてきます。玄関右に進めば薪で沸かす五右衛門風呂と煉瓦のかまど、燃料として使われていたマキの煙が、むき出しの小屋を黒く染めている。よく見ると、土間から畳の間にかけてはほとんど燻されておらず、伝統工法で建てられた築年数の浅い家であることがわかります。世界に誇る日本の伝統的工法の家は、暮らし方の変化や構造評価の影響を受け、この家が建てられたころを最後に新築数は激減します。

古き良き日本の家の特長が詰め込まれたまさに住まい。茅ヶ崎で生まれ育ちながら、父親の生家であるこの家を度々訪ねているご主人は、父の農作業や家の手入れを手伝ううちに、不思議な感情が芽生えてきたといいます。

「この家は江戸時代、それも五代将軍の頃から山林、農地と共に代々大切につないできました。なので家と一緒に裏山も合わせて手入れしています。親父と一緒に汗を流すとね、小さい頃に遊んだ記憶が思い起こされて、すごく懐かしく感じるんです。この頃は親父がこの家を大切に思う気持ちがわかるようになってきました」

昨年からは家族でこの家を訪れるようになったり、息子の静くんが庭や家の中を飛び回って遊んでいる様子に、かつてのご主人が重なって見えるそうです。

街育ちの奥さんも最初は抵抗があったようだけど、「まあ徐々にね。別荘のような気分もあったりして（笑）。とはいえ住みづらいということで、育暮家さんにはずいぶん相談に乗ってもらっています」

改修工事は間もなく始まります。ポイントはこぶいっぱいの土間を残すこと。ただ残すのではなく、快適に暮らす日常が必要。そのために換気と断熱、暮らしの動線づくりがプランされていきました。

育暮家がリフォームでまず行うことが地盤の確認だといいます。地震リスクの高い軟弱な地盤に建つ家に費用をかけてリフォームすることに慎重になっているようです。

想いがある家であっても時には解体、建て替えを勧めることも。ここでも事前に行った地盤調査結果から判断されたそうです。また伝統的な家屋の断熱には課題がいっぱいで、経験とノウハウが必要だといいます。「育暮家さんのホームページもよく見ていますよ」技術だけではなく価値観の近さが育暮家を選択した理由だと感じました。

「今でも盆の時期には親戚がこの家に集まるんです。まさにこの家があるからこそのつながりです。そしてそれは親父から私へ、そしていつかは息子へと受け継がれる縁となる。まあそのうちにこの家に越してくる選択肢もあるかもしれません（笑）」

ご家族の朗らかな人柄、優しい笑顔の先にこの家の未来が見えた気がしました。

リフォーム前の片付けもほぼ終わり、家の中は建築当時のままに。屋根瓦を葺き替えた他にはほとんど手を付けらえていない家だけにリフォームもしやすい。鋳物ホーローの五右衛門ぶろはタイルと合わせ色彩もユニークで当時はモダンなバスルームだったのでしょう。

育暮家 ikubōya
www.hihomes.co.jp

生活を慈しみ、愛情と手間をかけながら、
家が家族を育み、家族が家を育んでいく。
年を追うごと 心地よさ、愛着が増していく。
そんな家と人との「育暮家」。
育暮家 それは 家づくり。
育暮家 それは 家、家族 そして暮らし方。
育暮家 私たちみんなが「育暮家」。

大切なものを残し育む住まい
育暮家（いくぼーや） ハイホームス 藤枝市青南町2-8-7
TEL/054-636-6611 hihomes@tokai.or.jp
住まいの知恵、暮らしの知恵を育む集いの場
「育暮家むばす」のイベントはHPから
「いくぼーや」又は「育暮家」 検索
※育暮家むばすとは育暮家ハイホームスの新拠点の名称です。

しあわせづくり、家づくり。

彼岸花が咲き誇る葉梨川。その脇の山間を少し入ったところに佇む一軒の民家を訪ねました。先祖より代々受け継がれてきた素朴な農家住宅は、変わりゆく里山の風景の中に明治、大正時代の脇屋に守られるように建っていました。時を紡ぐ家の価値そしてその家と向き合うご家族の思いと決断とは何か、取材してきました。